片桐英数塾通信

和して同ぜず 自分を持て

The value of a life is measured by its impact on other people.

「テレビばっかり見よったらアホになるぞ！」。「マンガばっかり読むな！」。「長電話をするな！」。

恐らく、かれこれ何年も前に、今もそうかもしれませんが、これらは一般的な多くのご家庭で飛び交った言葉ではないでしょうか。我が家も多分に洩れず、うるさく言われました。特に父が「子供にテレビはいらん！」というタイプで、今、当時の私を知る人がこれを読むと吹きだすかずっこけるかすると思うのですが、私が中学に上がるまで、我が家にはテレビはありませんでした。ただ、幸いなことに、近くの祖父母の家にはテレビがありましたので、私は小学校の授業が終わると一目散に祖父母の家へ行き、両親が仕事から帰ってくるまで、それはもう必死にテレビを抱えるように見ておりました。

その努力が功を奏し、学校では誰よりも「テレビっ子」と呼ばれておりました。

そして、両親が仕事から帰ってくると、祖父母の家から、いや、テレビから無理矢理引き離され、テレビの無い、閑散たる我が家へと連れ込まれ、やることはと言いますと、宿題をするとか本を読むとかマンガを読むとか、野球が好きだったので、野球の雑誌を読むとか。他にやることが無くなると、簡単な BASIC 言語で動くポケットコンピューターを取扱説明書を読みながらあ～でもない、こ～でもないといじってみたり。自分がバッティングセンターで出したスピードガンの数字をひかえ、その数字を元に、そのポケットコンピューターで将来の自分のスピードの予想値を計算してみたり。ただ、いろんな関数があってそれが何なのか訳の分からないまま計算しておりましたので、どの関数で計算したかは忘れましたが、高校生になった時、自分の投げるボールのスピードが時速180キロを超えることになり、既に、小学生だったその時にプロ入りを決意しておりました。今思うと、そんな生活もそれはそれで楽しかったのかもしれません。

しかし、中学に上がると、待望のテレビが我が家に現れ、私の生活は激変します。それはもうむさぼるようにテレビを見ておりました。そして、その数年後、世を震撼させた「ファミリーコンピューター」なる夢のゲーム機が登場し、欲望の赴くまま、両親の目をかいくぐり、ゲームに入れ込んだ時もありました。

そんな欲望三昧の生活も、終わりを告げる日が来ます。受験が近づいてくるにつれ、こんなことをしていたらダメだということに気がつきます。「これで最後にしよう」と最後のつもりでゲームを始め、「これが最後なんだから少しくらいわがまま言ってもええやろ」と、決めていた時間を5分延ばし、10分延ばし…。そして、「明日こそは」と深く反省し、翌日も「これで最後だから…」を繰り返し…。なかなか欲望など断ち切れるものではありません。しかし、どう考えても、ゲームをやっている限り勉強に身が入らないのは我ながらはっきり理解できてましたので、最後の手段は、家族に頼み、自分の分からないところに夢の機械を隠してもらうことでした。結局それが最も効果がありました。

高校生にもなると、友達も増え、高校で知り合う友達というのは楽しいもので、昼学校で話せば良いのに、わざわざ夜に長電話。「はよ切れ！」と、いつもかあちゃんが激怒しておりました。やはり「電話代がかかる」と言われると、子供ながらに「そりゃいかん」という気にもなるもので、潔く切るようにはしておりました。

と、このように、私は一通りの欲望に、時にどっぷりと浸かり、時に必死に引き離し、時に敗北し、時に勝利し、そのような人生を歩んできたわけでございます。随分と深い反省を繰り返してきました。だから、面と向かって大きな声では言いにくいのですが、ゲームとか携帯・スマホにはまってしまっている人を見ていると、「後で苦労するぞ。やめとけ。」と思ってしまいます。

理由は単純です。特に受験生にもなると、いかに多くの知識を入れ、その入れた知識を的確に出すか、がとても大切です。知識を入れるには膨大な時間が必要で、また、知識を適切に取り出す演習にも膨大な時間が必要です。ゲーム・携帯・スマホにくれてやる時間などありません。また、受験勉強というものは思考のとても深い部分を使います。水中にす～っと潜っていくと周りの音が聞こえなくなってくるのですが、そんな感じの深い集中、思考が必要となります。一方で、ゲーム・携帯・スマホは、夢中になると、深いところに潜っていくだけの脳の体力を奪います。分かりやすく言いますと、脳が疲れてしまって勉強にならん、ということです。だから、特に受験生は、それらから距離を置くことが必要だ、と思います。

ただ、時代は変わりました。昔なら、「勉強の邪魔になるからするな！」と言い切れていたのですが、確かに、ゲームは勉強の邪魔にしかならないのですが、ソーシャルネットワークを利用し、インターネット上で人と人とが繋がり合うことも、これからの若い世代にとっては重要なリテラシーになる、ということが言われつつあります。「邪魔だから」と一概に言い切れなくなってきています。もしかすると、それも勉強なのかもしれません。「これまでの日本の成功モデルというものが無くなっていく中で、新しい成功の形を見つけなければならない。若い世代が得意とするソーシャルメディアを利用して横に繋がることの中に新しい価値観が見い出せるかもしれない。」このような論調が、NHK の番組や日本経済新聞の中に出てきておりました。正直、私は時代の変遷を痛感いたしました。

しかし、たとえ、それがこれからの時代に必要なリテラシーであって、今、経験しておくことが必要だとしても、私は、もっと大切なことがあると思います。インターネットで繋がっていく中で、自分を知ってもらうことの喜びがあるのですが、「自分はこんなヤツだ！」と自分から名乗りをあげるよりも、「あの人はこんな人なんだ」と、周りが認めていく中で自分が知られていくことの方が自然に感じるからです。古風なのかも知れませんが…。

人に知ってもらうためには、まず己を磨くことです。己を磨くには、じっくり時間をかけた深い深い思考、鍛錬が必要です。時代に振り回されない強い自己の確立が必要です。

横に繋がりあう世界がこれからもますます広がるのでしょうが、そのような世界だからこそ、『和して同ぜず』という達観した見地から自己を見つめる力が不可欠のように感じます。

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

KATAGIRI English and Mathematics School

「年納め学習会」開催！

高3生が大晦日に坂本教室に集結！意欲的に受験勉強に励みました。
「それぞれの夢・目標に向かって頑張ろう！受験を制して良い年にするぞォ！」

全統高１・高２記述模試

２月１０日（日）実施　彼を知り己を知れば百戦殆からず

申込締切日　1月30日(水)　受験料　3，200円

※試験会場はいずれも坂本教室となります。受験希望者は、別紙実施要項を確認の上、受験料を添えて申込んでください。申込受付後、受験カードを渡します。

締切後の変更・キャンセルはできません。

坂本教室からのお知らせ

坂本教室の2月の休日は、
3日(日),10日(日),17日(日),24日(日)です。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　katagirijuku@docomo.ne.jp

受験生のみなさん！！
いよいよ受験本番です！
日頃の体調管理に十分注意し、
万全の体調で受験に臨みましょう！！